

広報・PR活動等について

① のりかた教室

まちなか循環バス「あべっ車」およびせなみ巡回バス沿線の3小学校で「バスののりかた教室」を開催し、公共交通の重要性の講義と安全なバス利用の啓発を行いました。

- ・場 所 村上南小学校・村上小学校・瀬波小学校
- ・児 童 4年生
- ・従事者 村上営業所（松田所長、運転員）、自治振興課（国井、小野寺）
- ・内 容 ①バスについての講習 20分間（講師：国井係長）
②バスの乗り方について学習20分間（講師：松田所長・運転員）

○平成28年10月7日（金）村上南小学校にて



○平成28年10月12日（水）村上小学校にて



○平成28年10月25日（火）瀬波小学校にて



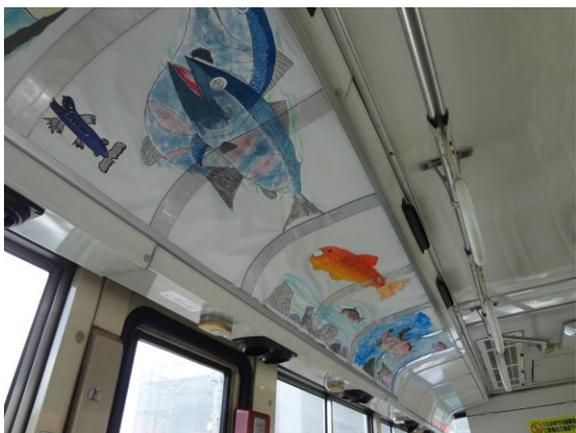
② イヨボヤバスプロジェクト2016「バス車内飾りつけ」

まちなか循環バス「あべっ車」・せなみ巡回バス車内に沿線小学校（村上南小学校、村上小学校、瀬波小学校）の4年生が描いた『鮭』に関する作品を展示しています。また、特典としてバス無料券及び市内施設無料券の[フリー乗車券]を児童へ発行しました。

【瀬波小学校4年生の作品】



【村上小学校4年生の作品】



【フリー乗車券】


 まちなか循環バス あべっ車 No.2181
 せなみ巡回バス
フリー乗車券
 名前:
 村上小学校・村上南小学校・瀬波小学校児童限定
 ゆうこうきげん
有効期限:平成29年1月31日まで
 きかんちゅう なんと りよう
 期間中は何度でも利用できます。
 村上地域公共交通活性化協議会

村上市まちなか循環・せなみ巡回バス フリー乗車券
 ゆうこうきげん
有効期限 平成29年1月31日まで
 とく てん かいかん かいかん
特典 おしゃぎり会館、イヨボヤ会館、
 むらかしきょういくじょうほう
村上市教育情報センター プラネタ
 りようきん むりよう
リウムの料金が無料になります。
 ※ この乗車券は、本人以外には利用できません。
 ※ お問い合わせ
 村上市自治振興課 ☎0254-53-2111(内線 333)

③ 高速バス利用者調査

7月12日（火）～8月12日（金）の1か月間、自治振興課・荒川支所地域振興課・神林支所地域振興課の3課職員が村上市内の高速バス停（4か所）に立ち、利用者へアンケート調査を行いました。

下記のとおり「利用目的」の質問では、帰省や家族に会いに行くなど多様な用途でかつ単発的に利用される【その他】が51件と最も多い結果となりました。

二番目には、新潟県立がんセンター新潟病院や新潟大学医歯学総合病院への【通院】利用が42件で、つづいて【遊び】・【通勤】・【通学】となりました。

以上の結果を踏まえ、10月からの高速バス廃止に伴い、電車で代替移動し、新潟市内にある4つの病院（新潟県立がんセンター新潟病院・新潟大学医歯学総合病院・新潟中央病院・新潟万代病院）へ通院した方に、新潟駅から病院までの路線バス料金、往復420円を上限として補助する「村上市通院費補助金」の制度を9月に創設しました。

調査期間：7月12日（火）～8月12日（金）

アンケート回答数：117名

利用者数

	村上営業所前	長井町	神林支所前	荒川バスストップ	合計
乗車人数	150	13	27	11	201

利用目的

通院	通勤	通学	遊び	無回答	その他	合計
42	5	3	15	1	51	117

降車バス停回答数

	新潟駅前	万代シティ	古町	新潟市役所	がんセンター	県庁	合計
人数	22	24	17	12	29	13	117

利用についての意向調査（利便性）

時間が便利	安価	乗車立地が良い	降車立地が良い	運転が不得意又は車がない	電車が苦手、不便	その他	合計
16	1	13	70	12	9	4	125

※複数回答のため、アンケート総数とは異なる。

利用頻度

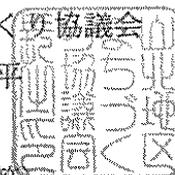
週1回以上	月数回	年数回	合計
8	40	69	117

④山北まちづくり協議会からの回答

平成28年 9月29日

村上市地域公共交通活性化協議会
事務局長 川崎 光一 様

山北地区まちづくり協議会
会長 佐藤 庄平



山北地区内の公共交通運行における意見について (回答)

平成28年6月6日付け村交協第5号で依頼のありました標記の件につきまして、以下により回答します。

記

- (1) 伊呉野ー府屋駅前線の利用促進について
 - ・ 地域の生活実態を鑑み、利用実態の把握に努め、地域住民が利用しやすい運行を願います。
- (2) 越沢集落における対応について
 - ・ 当該集落のみならず、交通空白地域の解消に努めていただき、地域住民が利用しやすい運行形態、利用料金等の設定を願います。
- (3) その他
 - ・ 少子高齢化が著しく進んだ当地域においては、買い物弱者と言われる高齢者世帯が増加する一方であるため、公共交通において高齢者が利用しやすい料金設定または利用補助等の検討を願います。
 - ・ 山北地区の地理的条件を踏まえ、新潟市あるいは市内中心部等へ通院をするにもかなりの経費負担を強いられている現状にあります。市域全体を鑑みた利用者等への支援策の検討を願います。